

会 報

平成14年度第3回日本公衆衛生学会理事会議事録

1. 日 時 平成14年 8月30日(金)15:00~17:20
 2. 場 所 法曹会館
 3. 出席者 理事長 多田羅浩三
 学会長 北川定謙
 理 事 岩尾總一郎 小倉敬一
 金川克子 小林廉毅
 近藤健文 芝池伸彰
 伊達ちぐさ 中川秀昭
 能勢隆之 松田 朗
 三浦宜彦 宮武光吉(14名)
 監 事 平山朝子
- 委任状提出者
- 副会長 井上晶子 柿沼トミ子
 山崎寛一郎
- 理 事 相澤好治 阿彦忠之
 木根潤英雄 小林秀資
 嶋本 喬 田中平三
 角田文男 鳥山 皓
 二塚 信(12名)
- 監 事 古市圭治

オブザーバー

中原俊隆(京都大学医学部公衆衛生学)

現在理事数26人,出席者14人,委任状提出者12人
 学会規定第13条第1項による定数に達している
 ことを確認した後,多田羅浩三理事長が議長とな
 り開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から
 挨拶があった。

議事録署名人選出

議事録署名人に,近藤健文,宮武光吉両理事が
 指名された。

議 事

第1号議案 第61回(平成14年度)日本公衆衛生 学会総会について

北川定謙学会長から学会機関誌49巻8号に掲載
 の資料に基づき次のような説明があった。

会場は駅の近くにあるので,交通は公共機関を
 利用いただきたいこと。

メインテーマをどこまで生かせるか頑張っている
 こと。

会場は1つの建物だが,上下の移動が多いので
 看板等で案内したい。

ミニシンポジウムは24セッションの予定であ
 ったが,応募が多く41セッションに増加した。

ブースはまだ希望者が少ないので,さらなる応
 募を望むこと。

以上により,本議案は了承された。

第2号議案 第62回(平成15年度)日本公衆衛生 学会総会について

中原俊隆次期学会長から次のとおり説明があ
 った。

8月半ばより積極的に活動を始めている。

付随関連行事については京都府と京都市が担当
 それぞれ分担することになっているが,会場は検
 討中である。

市民公開講座を行わないため,初日の午前中の
 開会式,学会長講演,特別講演は市民に公開した
 い。特に特別講演は文化人を呼び,学会長講演も
 一般の人に向けたものにした。学術部会は9月
 後半に活動開始の予定である。

大都市の学会総会で市が担当するケースは最初
 であるため,大都市特有の問題を扱ったシンポジ
 ウムを検討している。

メインテーマは「新しい公衆衛生の展開をめざ
 して」とし,いろいろなアイデアを募集している。

総会初日の午前中を市民に公開するにあたり,
 総会議事を別室で行うことも検討されたが,総会
 議事も含めて市民に公開していいのではないかと
 いう意見も出されている。

以上により,本議案は了承された。

第3号議案 第63回(平成16年度)日本公衆衛生 学会総会について

多田羅理事長から第63回総会について,学会長
 は島根医科大学の多田 学副学長にお願いし,島
 根県松江市で実施する予定である旨説明があり,
 了承された。

能勢隆之理事から,現状の報告があった。

本議案は明日開催の新理事会に報告し,評議員
 会(10月22日開催)に諮ることとした。

第4号議案 新理事会への引継事項について

多田羅理事長から新理事会への引継事項を委員
 会報告も含めて確認し,9月2日開催の理事会に
 報告することとした。

1. 編集委員会

小林廉毅担当理事から次のとおり説明があった。

今期の主な事項は、査読委員の20名の増員、投稿規定に倫理的配慮に関する項目の設置、団体名による投稿は構成員全員が会員であれば可とする、学会総会の抄録集のISSN登録、査読委員への謝金を増額したことである。

申し送り事項としては学会機関誌50巻記念事業の実施、査読の短縮化の努力、IT化導入、会員以外（特に外国人）の投稿と英文での投稿について今後も検討を重ねることがあげられる。

2. 公衆衛生人材委員会

二塚 信委員長欠席のため、近藤理事から申し送り事項として次の報告があった。

1) 医学教育として平成14年度から実施されたコアカリキュラムについての実態調査とフォローアップは必要とされ、また平成16年度から実施される卒後臨床研修についても実施準備のための緊急の作業課題があり卒後臨床研修推進連絡協議会を設置する予定である。

2) 保健師の養成については公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会のアンケート調査の結果をふまえ、問題点と今後の課題について検討する。

3) 公衆衛生領域の栄養士養成については栄養学専門大学院大学構想について注目している。

4) 国立保健医療科学院、大学院大学における専門家養成のあり方、今後の方向について検証する必要がある。

5) 衛生行政の現場での人材確保と資質の向上については、現任教育の実態を把握し解決すべき課題を明らかにする必要がある。

また、伊達ちぐさ理事から栄養学専門大学院大学構想についての説明があった。

小倉敬一理事から保健所長の医師規定の問題と、看護職等の養成施設増加にともない卒後の受け入れ先の問題について発言があった。

以上の検討課題をふまえ、今後は卒後臨床研修の課題を中心に研修の内容、実施運営の方法も含め、検討することを引き継ぎ事項とする。

3. 地域保健委員会

阿彦忠之委員長が欠席のため、多田羅理事長から報告があった。

地域保健の推進体制、健康日本21の推進、たばこ対策の推進、医師の卒後臨床研修の受け入れ体制に関する検討を引き継ぎ事項とする。

4. 感染症対策委員会

角田文男委員長が欠席のため近藤理事から報告があった。

アンケート調査の結果をまとめ、10月の評議員会までには報告書を作成する予定である。

今後、衛生研究所に対する調査と4年後の追跡調査の実施を引き継ぎ事項とする。

5. 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川克子委員長からこれまでの活動とアンケート調査報告を含めた中間報告の内容について説明があった。今後の課題については、保健師免許を得た後の現任教育の実態について、保健師に求められる能力の明確化、卒業後の就業状況、基礎教育の実習体制の整備と教員の位置付け・資質について検討することを希望する旨説明があった。

北川理事から保健師の教育が看護教育の中に埋没しているのではないかと議論が巻き起こるような活動をして欲しいとの意見が出された。

宮武理事から、保健師になってからの教育について検討した方がよいのではないかと。あり方と受け入れの数の問題に注目してはどうか。また、基礎教育の検討についての意見が出された。

6. 会誌検討委員会

近藤委員長から、会員名簿は今年の1月に発行した。会誌の大きさ、IT問題、ホームページについては今後の課題である旨報告があった。

三浦理事からホームページの見本の紹介と今後のメンテナンスをどのようにするか、また、雑誌の電子化についても検討が必要であり、今回の総会の演題の申し込みの状況を見てこれらの問題について進めることを引き継ぎたいとの説明があった。

7. 選挙管理委員会

北川委員長から、これまで役員選挙が3年に1度のため問題点が解決できないまま、次回の選挙になってしまっていたので、問題点を整理して次期理事会では是非検討していただきたい旨説明があった。

8. 奨励賞、名誉会員について

北川委員長から、今年度の奨励賞受賞者と名誉会員候補者については前理事会で承認されているが、次期理事会に申し送りしたい旨報告があった。

以上申し送り事項については承認された。

第5号議案 医師の卒後臨床研修について

多田羅理事長から医師の卒後臨床研修の必修化についてのこれまでの動きと次の説明があった。

本学会では公衆衛生人材委員会の中にワーキンググループを設けて検討を続けているが、今後臨床研修の調整機能を果たす組織として、「地域保健・医療」研修にかかわる各団体の代表からなる連絡協議会を立ち上げることを予定している。また、9月中に研修の大筋が決まるといことなので厚生労働省医政局長宛に「地域保健・医療」臨床研修の実施体制と研究プログラムの提案という要望書を保健所長会、衛生学公衆衛生学教育協議会との連名で提出する予定でそれぞれの会において検討しており、承認され次第提出したい。

以上により、本議案は了承された。

報告事項**1 委員会報告****学会総会60回記念事業委員会**

多田羅理事長から次のとおり報告があった。

第4回座談会は島尾先生を中心に8月7日に開催した。

第5回座談会は館 正知先生、石戸利貞先生にご出席いただき9月11日に、第6回座談会は石丸隆治先生、松浦十四郎先生、重松峻夫先生にお願いで10月9日に開催の予定である。

2 選挙管理委員会報告

北川委員長から資料を基に理事・理事長選の投票状況と理事長、理事の当選人について報告があった。投票率は理事選は93%理事長選は92%であった。

3 その他

近藤理事から日本学術会議よりシンポジウム「地域学の現状と課題」への協賛の依頼があり、了承した旨報告があった。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

平成14年度第4回日本公衆衛生学会理事会議事録

1. 日 時 平成14年9月2日(月)14:00~16:00
2. 場 所 法曹会館
3. 出席者 理事長 多田羅浩三

理 事 相澤好治 入山文郎
遠藤 明 大井田隆
岡田尚久 角野文彦
実成文彦 嶋本 喬
新庄文明 伊達ちぐさ
中谷比呂樹 中原俊隆
藤田利治 松田 朗
三角順一 村嶋幸代(17名)

委任状提出者

学会長 北川定謙
副会長 山崎寛一郎 井上晶子
柿沼トミ子
理 事 阿彦忠之 金川克子
小林廉毅 小林秀資
近藤健文 佐藤 洋
中川秀昭 森田倫史(12名)
監 事 古市圭治 平山朝子(2名)

オブザーバー

渡辺真俊(厚生労働省健康局総務課地域保健室)
現在理事数29人,出席者17人,委任状提出者12人
学会規定第13条第1項による定数に達していることを確認の後,多田羅浩三理事長が議長となり開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶があった。

また,新理事による初めての理事会のため,自己紹介を行った。

議事録署名人選出

議事録署名人に,嶋本 喬,松田 朗,両理事が指名された。

議 事**第1号議案 第58回(平成11年度)日本公衆衛生学会総会について**

北川定謙学会長が欠席のため多田羅理事長から学会機関誌49巻8号に掲載の資料に基づき説明があった後,本議案は了承された。

第2号議案 第59回(平成12年度)日本公衆衛生学会総会について

中原俊隆次期学会長から前回の理事会と同様の説明があった。

前回の理事会で総会初日の午前中を市民に公開することは了承されたが,総会議事もそのまま会場はかえずに行うこととした。

健康日本21の評価について取り上げてもよいの

ではないかとの意見が出されたが、中原次期学会長からは、市町村レベルではやっと策定が終わったところで評価するのは難しい段階であり、むしろ、メインシンポジウムで健康増進法と健康日本21を採り上げたい旨説明があった。

以上により、本議案は了承された。

第3号議案 第63回(平成16年度)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から第63回総会について、学会長は島根医科大学の多田 学副学長にお願いし、島根県松江市で実施する予定である旨説明があり、了承された。

以上により、本議案は評議員会に諮り、総会に報告することとした。

第4号議案 新理事会への引継事項について

1. 平成13年度事業報告、収支決算(案)について

多田羅理事長から平成13年度事業報告について説明があった。

松田 朗理事から平成13年度収支決算(案)について説明があった。

以上により本議案は了承されたので、評議員会に諮り、総会に報告することとした。

2. 平成14年度収支補正予算(案)について

3. 平成15年度事業計画(案)、収支予算(案)について

多田羅理事長から平成15年度事業計画(案)について説明があった。

松田理事から平成14年度収支補正予算(案)、平成15年度収支予算(案)について説明があった。

なお、アメリカ公衆衛生学会総会には、本学会からも代表者が参加することにしているが、その費用については予備費から負担することが了承された。

以上により本議案は了承されたので、評議員会に諮り、総会に報告することとした。

4. 今年度の奨励賞、名誉会員について

北川委員長欠席のため、多田羅理事長より今年度の奨励賞受賞者と名誉会員候補者について、前理事会からの決定が紹介された。名誉会員候補者については、評議員会、総会に諮ることとした。

5. 選挙管理委員会 役員選挙に関する規定の改定について

北川委員長欠席のため、多田羅理事長から役員

選挙に関する規定についてはいろいろな矛盾点があるため、3年後の選挙には間に合うように改訂が必要である旨説明があった。

6. 編集委員会

7. 公衆衛生人材委員会

8. 地域保健委員会

9. 医師の卒後臨床研修に関するワーキンググループ

10. 感染症対策委員会

11. 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

12. 会誌検討委員会

以上については、多田羅理事長から資料に基づき前理事会からの引継事項の説明があり、了承された。

第5号議案 新体制の役割分担等について

多田羅理事長から指名理事については次の方をお願いし、本人の了承を得た旨説明があった。

指名理事

中谷比呂樹氏

厚生労働省大臣官房

小林秀資氏

国立保健医療科学院

森田倫史氏

奈良県福祉部健康局

岡田尚久氏

島根県出雲保健所

相澤好治氏

北里大学医学部衛生学公衆衛生学

中原俊隆氏

京都大学大学院医学研究科公衆衛生学

また、役割分担については、次のとおり提案があり了承された。

理事長代行 入山理事

庶務担当 近藤理事 嶋本理事 大井田理事

学術担当 相澤理事 中原理事

会計担当 松田理事 遠藤理事

編集担当 小林理事 金川理事 伊達理事

名誉会員の推薦 入山理事 三角理事

日本医学会評議員 近藤理事

日本医学会連絡委員 相澤理事

日本医学会用語委員会委員 小林理事

委員会

編集委員会

岡崎 勲委員長

公衆衛生研修委員会

近藤健文理事

地域保健委員会

阿彦忠之理事

感染症対策委員会

角野文彦理事

公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

金川克子理事

IT化検討委員会

中川秀昭理事

規定改正委員会

松田 朗理事

多田羅理事長から担当の理事が中心となって委員会のメンバーを選出していただきたいが、今期の委員会メンバーは理事を中心に選び、学会として何ができるかという観点から活動していただきたい旨要望があり、委員会のメンバーは次回理事会で決定し評議員会に報告することとした。

報告事項

1 委員会報告

学会総会60回記念事業委員会

多田羅理事長から第4回座談会の報告と、第5回、第6回座談会の予定の説明があった。

2 次回理事会

10月22日（火）11時からさいたま市大宮ソニックスティで行う。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。